学校番号	１０００１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　日本史Ａ　人・くらし・未来（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・開国、日清・日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦、冷戦などはなぜ起こったのか。そのときの日本と世界の動きを知って、これからの日本について考えてみよう。
・「近い昔」つまり祖父母の生きた時代を学ぶことで、今の自分の存在を考えてみよう。

2　学習の到達目標

・現在の日本と国際社会が形成されるに至った歴史的背景を理解し、自分の言葉で説明できる。
・歴史的事象が現代の日本社会においてどのような影響を与えているかを考える。
・資料から情報を読み取る力をつけ、それにもとづいて自分の考えを表現できるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近世から現代に至る、わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、今この国に生きるものとしての自覚と責任感を持つ。	近世から現代に至るわが国の歴史の展開から課題を見出し、地図や視聴覚教材を積極的に利用し、世界史的視点の中で日本と世界の未来を考え、公正に判断する。	近世から現代に至るわが国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身につけるとともに、結果を適切に表現する。	近世から現代に至るわが国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち、わが国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	近代国家の形成と国際関係の推移　第一次世界大戦	・近代への胎動 ・明治維新 ・近代国家の確立 ・対外関係の変化 ・政党政治の展開 ・近代産業の発展と社会運動の展開 ・国民生活の変化と文化 ・第一次世界大戦と日本	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○	○ ○	a:日本の近代化の過程を意欲的に考察し、諸外国との関係に関心を持つ b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に判断する c:事例に考察に必要な諸資料を収集・選別し、読み取った結果をまとめる d:設定された主題について、近代化とその結果を理解する。	ワークシート 定期考査
後期	第二次世界大戦　現代の日本と世界	・第二次世界大戦と日本 ・日本の再出発 ・独立後の政治と対外関係 ・経済の発展と国民生活の変化 ・2つのショック ・経済大国が誕生した	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:日本の敗戦とその後の日本の復興・国際化について関心を持つ b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 c:必要な資料を収集・厳選し、読み取った結果をまとめる d:戦後の日本と世界の関係を理解し、これからの時代を生きる知識を身に着けている。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。